

## 【「ジェンダー視点の主流化」の定義について】

あらゆる領域・レベルで、法律、政策およびプログラムを含むすべての計画において、男性及び女性に及ぼす影響を評価するプロセス。政策にジェンダーの視点を入れ、男性と女性が平等に受益し、不平等を永続させないよう、全ての政治的、経済的、社会的領域における政策ならびにプログラムを、企画・実施・監視・評価し、不可欠にする戦略を言い、その究極の目標は「ジェンダー平等の達成」である。

(令和7年3月26日第3回審議会 村松会長の情報提供より)

※「ジェンダーの視点」とは、固定された社会的役割や力関係によって生じる課題やニーズに着目すること